



松子さんと松太郎さんの『ユニット暮らし』

第五話 『東町1丁目ユニット』の暮らしを続ける の巻

こんにちは。S 荘『東町1丁目8番地と9番地』在住の高萩松太郎と松子です。

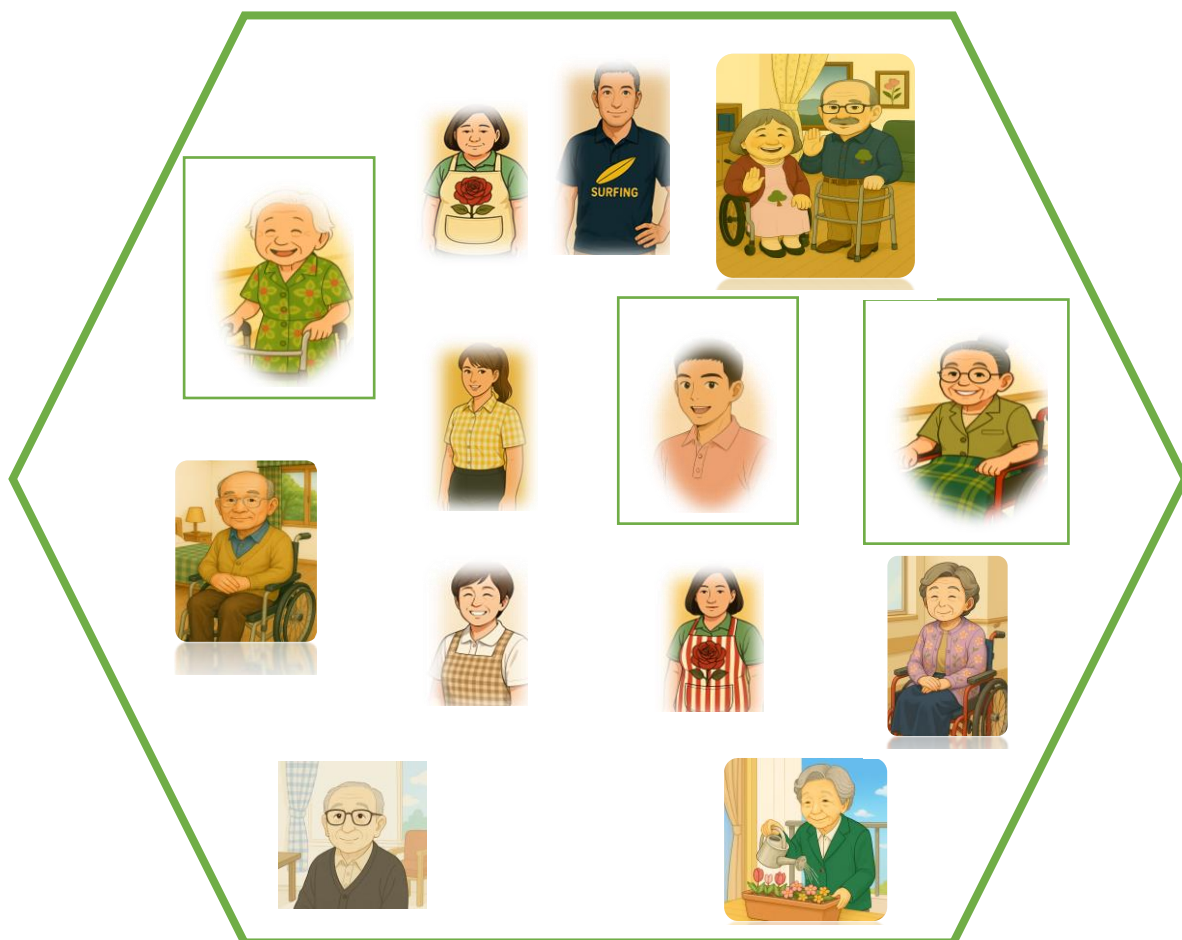
早いもので入居から1年が経ちました。季節はすっかり秋です。

東町1丁目の入居者2名がご退居になり、新たに2名の方（1番地に幸子さん、7番地に友子さん）が引っ越してこられました。

この間に体験した様々な出来事と感想をお話しします。

東町1丁目の入居者は全員で9名です。私たちの日々のお世話をしてくださるのは東町1丁目配属の介護職員6名で、内2名は週3日勤務のパートさんです。松籟荘は、馴染の関係を大切にしているので介護職員さんは固定配置が原則ですが、時々人事異動があります。この春、介護職員Oさんから、Pさんになりました。

【東町1丁目ユニット構成員】



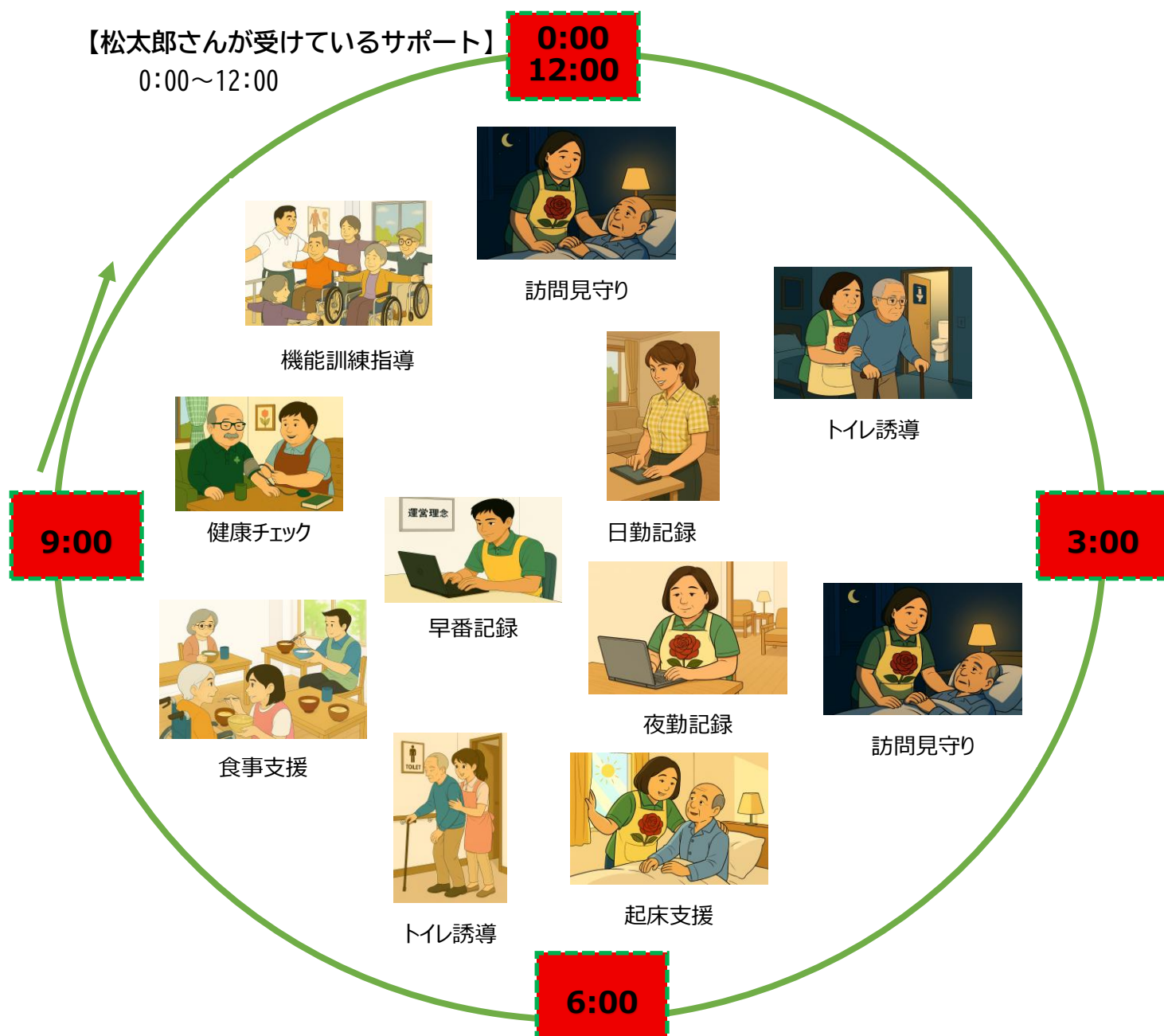
※ は新メンバーです

私たちは、日々の暮らしの中で職員さんからさまざまなサポートを受けながら暮らしています。「生活リズム」「意向・好み」「自分でできること」「サポートが必要なこと」は一人ひとり違います。職員さんたちはそれらを把握されており、実にタイミングよくお世話してくださいます。時間帯によっては、介護職員さんが1人で9名の入居者のケアをされるのですが、バタバタしていません。Sユニットリーダーからは、「新入職員や異動で新たなユニット配属になった時は、一定期間マン・ツー・マン指導をしています。それと『施設サービス計画書』と『24シート』を覚えてもらい、毎日の記録や情報のやりとりをしっかりと行うことで、自然にできるようになっていくと思います。そのような訳でしばらくの間はご不便をおかけしますが、ご容赦ください。」と説明を受けました。



Sユニットリーダー

さて、この一年間の出来事を振り返りまして、まず、東町1丁目ユニットのスタッフの仕事ぶりについての感想を述べます。下図は、私(松太郎)の『24シート』を基にユニット介護職員さんが勤務シフト（早番・日勤・遅番・夜勤）でケアをつなぎ、私が受けているサポート内容が時間軸で書かれてあります。（曜日や時間によってクラブ活動やイベントに参加するときもあります…）



【松太郎さんが受けているサポート】

12:00～0:00

12:00
0:00



トイレ誘導



食事支援



訪問見守り



夜勤記録



日勤記録



リフト浴の支援



ティータイムの支援

15:00



就寝介助



遅番記録



米を研ぐ



就寝準備



食事支援



トイレ誘導

18:00

21:00

私の場合、パーキンソン病ですがまだまだ頑張れるところがありますし、元来行動的なものですから、様々な活動に参加し、出来ないところだけ手助けをお願いするようにしています。

東町1丁目ユニットのスタッフさんは、私達夫婦の生活パターンをよく理解し、さりげなくサポートしてくださいます。若い職員さんもいるのに感心しているところです。

それと早番⇒日勤（配置がない日もありますが…）⇒遅番⇒夜勤と勤務をつないでいるのですが、引継ぎを見かけたことがほとんどありません。『いつ、申し送りをするのだろう？』と不思議に思っていました。ある日 S ユニットリーダーに尋ねたところ、「入居者さんのいらっしゃる場所での引継ぎは失礼と思っています。それから、現在はパソコンや iPad を活用しての記録ですので、口頭での引継ぎはそれ程必要ではなくなりました。」との回答でした。

次に、ユニットの設えですが、クラブ活動やイベントを通して他のユニットの方々とも交流することができ、友人も結構できました。そこで、時々お邪魔することがあるのですが、どのユニットの設えも全く違いました。施設長に伺ったら、「それぞれのお家を目指しています。共有スペースもそうですが、個室についても、馴染の家具や品物をご持参いただいてご自分のお部屋を作っています。ですから『入所ではなく入居、お引越し』と言う考え方です。ただ、ユニット型は 2003 年の開設ですので、トイレや個浴の数・談話コーナーの未整備等々設計上後悔することが出てきました。それでも、代替措置を職員があれこれ工夫してくれるので助かっています。」と話されていました。

続いて、ここには『施設の日課がない』ことに対しても驚きました。私の知っている施設では、排泄支援・食事支援・入浴の支援・クラブ活動やイベント等々施設の日課があり、そのスケジュールに沿って支援が展開されるので、入居者の行動もそれに合わせなければならないそうです。ここでは、何もかもというわけではありませんが『自己選択と自由』があるのです。

それから、どこの施設でもクラブ活動やイベントはありますが、ここには、ユニット（暮らし）の仲間との気兼ねない活動があります。特に各ユニットにはキッチンが整備していますのでユニットキッチンで味噌汁を作り、ご飯を炊き、サンドイッチ・ホットケーキ・たこ焼き等ちょっとしたおやつ作りもします。ユニット型施設の場合、大量調理施設ではないので『家庭でできる6つのポイント』を守ることにより調理可能なのだそうです。ですから、「今朝、大根が収穫できたから、『お昼に大根の煮物を作っておかず1品プラス』もあるあるです。



サンドイッチ作り



食器洗い



味噌汁作り



米研ぎ



たこ焼き



ホットケーキ



野菜作り



花の手入れ

ところで、「これらの材料費どこで調達するの？」
私は、以前経理の仕事をしていたので「予算を立てていない費用を捻出するのは難しいのでは？」と思っていました。

Ｓ生活支援課長のお話では、「ユニット費という仕組みがあって、毎月定額を支給してもらいメンバーで話し合い自由に使っています。もちろんしっかり帳簿をつけて残金は戻します。」

 イラスト画像は AI (Copilot) 作です

第六話は
『東町1丁目ユニット』
暮らしは続くよ どこまでも
の巻です♥

